

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 [26] 東京都台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター

指定管理者の名称 社会福祉法人聖風会 指定期間 H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	特別養護老人ホーム（6）、軽費老人ホーム（1）、高齢者在宅サービスセンター（9）、短期入所（6）、在宅介護支援センター（1）、ヘルパーステーション（2）、グループホーム（1）、ケアマネジメントセンター（9）、地域包括支援センター（5）
(2) 類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター8施設
(3) 経営状況	[社会福祉事業会計]（22年度決算ベース） 歳入4,809,792,296円、歳出4,546,275,085円、収支差額263,517,211円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区台東1-25-5
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く）8時30分～17時15分
(5) 規模	延べ床面積 21,236㎡のうち1,147㎡ RC造地上14階地下2階のうち3階の一部 ダイルーム、食堂、機能訓練室、談話室、クリーンルームなど
(6) 人員体制	22名 内訳…相談員（2）、介護職員（常勤4、非常勤12）、看護職員（2）、機能訓練指導員（1）、運転手（非常勤1）

3. 事業（サービス提供）の概要

(1) 委託事業	①通所介護・認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)②介護予防通所介護・介護予防認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)(定員は一般デイ:30名・認知症対応デイ12名)
(2) 自主事業	自主事業は行っていない

4. 予算決算の推移

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料(22年度から)	7,094,000	2,808,000	1,406,000	0	1,752,000
	料金収入等	110,090,000	116,208,000	117,918,000	115,563,000	109,776,000
	管理経費	117,184,000	119,016,000	119,324,000	115,563,000	111,528,000
決算	委託料(22年度から)	2,156,506	2,297,000	1,406,000	0	1,742,290
	料金収入等	116,261,770	128,071,717	116,037,590	126,662,865	122,737,289
	管理経費	105,584,076	128,962,717	106,342,429	121,729,457	110,000,549
	収支	12,834,200	1,406,000	11,101,161	4,933,408	14,479,030

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数	日	310	310	311	310
定員（一般デイ）	人	30	30	30	30
定員（認知デイ）	人	12	12	12	12

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(24年度)	20年度	21年度	22年度
利用率（一般デイ）	%	85.0	85.8	84.5	77.5
利用率（認知デイ）	%	75.0	79.8	74.4	64.6

**7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み**

個人情報保護への取組み強化の一環として、USB使用時におけるパスワード設定等の対策を講じた。また、サービスマナーの向上に継続的に取り組んでおり、東京都社会福祉協議会主催のアクティブ福祉in東京（高齢者福祉研究大会）において、「玩具療法の取組み」についての報告を行った。

**8. 評価項目**      3：協定等の水準を上回っている。      0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。      -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [1.8]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[1]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**

S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未達）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	個人情報保護への取り組みを強化しつつ、介護福祉士の有資格者を基準以上に配置するなど、サービスの向上に努めている。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理とも適切に行われている。また、施設の老朽化に伴う修繕等についても迅速に行われている。
(3) 利用者の満足度	B	利用者満足度調査における、利用者からの評価は概ね良好であるが、利用率は落ち込んでおり、利用率の増加を図っていく必要がある。
(4) 歳入歳出	A	料金収入等が減額しているものの、管理経費が削減したことにより収支は改善された。利用率の増加を図り料金収入等の増額に努めていく必要がある。

**10. 総合評価**      良好   妥当   要努力   要改善   不適

**要努力**      施設の運営は概ね適切に行われているものの、利用率が減少しており、利用率の増加を図っていく必要がある。

**11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応**

利用者の満足度は概ね高く、適切な施設運営が行われている。年々利用率が減少していることから、継続的に事業のPRを行い、またプログラムのリニューアルを図るなど、更なるサービスの向上に努めて、利用率の増加を図っていく必要がある。